

# 穂波2025 新春対談

## 青年は農村をめぐります

昨年の高校生未来サミット、参加した高校生らが「福島でまた会いたい人」に二本松で農業を始めた新田弦五さんの名を挙げています。そんな新田さんご夫妻に若者にも響く2025新春メッセージを農民連会長根本敬が聞きました。



ねもと 敬  
福島県農民連会長

**根本敬** また新田さんに会いたいと高校生が言っているんだそうですね(笑)。

**新田弦五** 是非また会いたいと伝えておいて(笑)。あの高校生の眼差し、一緒に農作業をしてみたかったなあ。なんて思ったって高校生、若い感性が抜群。

**根本** さて改めまして、本日の対談は「青年は農村をめざす」。今年の東北ブロックのテーマでもあるんです。まずは自己紹介からお願います。

### 農村に守られて 農地を守る

**弦五** 二本松で就農した新田弦五と言います。「何が大切か」、そこは夫婦で一致しています。

**久美子** 私は桃農家に生まれ、家で採れたものを食べて育ちました。やがて家を離れ、野菜など買ったものを食べるようになって初めて、味の違いがわかりました。その頃から自分で作ったもので食卓を彩りたいと強く思うようになったんです。そしてヨガの勉強でインドへ。畑で瞑想などもするんですが、身体全体で「母なる大地」を感じます。その時農地を守りたい、とはっきり思いました。

2020年コロナに翻弄され、世界に閉塞感がただよい、さらに決意ははっきりしました。岡山県のぶどう畑で夫と出会い、就農しました。

**弦五** ハザードマップを見て、地盤の強いこの二本松の地を選んだ。新規就農に至るまで某県のレタス農家で農業体験をしたんです。インドネシアからの研修生といっしょに。その農家の方は父親から、言われた通りにやるようなやり方しか教わらな



**新田 弦五** 二本松市で2024年4月新規就農。地域での生き方を農業を通して実践する。「不誠実が嫌い」、世代を超えて繋がり合う温かい人柄には定評が。



**新田 久美子** 桃農家に生まれ、農にふれて育つ。都会暮らしを経て農業を通して知り合い結婚。写真は「最近なついた野良」と話す猫と。

かったから、我々はじめ研修生の外国人にもそのやり方。加えて外国人研修生に対して人としての扱いをしていない、人に仕える犬か何かのよう。「不誠実が嫌い」という生来の僕の性格が炸裂、そして決意した。「では自分でやろう」。その時は鬼の形相、たぶん(笑)。

**根本** 来年からインドネシアの方二人を雇用して経営を広げる。久美子さんどうだった？無謀とも言えるそんな状況。

**久美子** 夫としっかり向き合う覚悟はできたと思っていたのですが、常に離婚の危機(笑)。でもあからさまに対立することはしないでおこうと、ぶつかってもいなかかった。インドネシアの二人を雇うことで、本気のケンカも経て、わかったことは「わたしの覚悟が足りなかつたんだな」と反省しました。

### 覚悟が本当にできているか

**根本** Aという意見に対してBという考え方、どちらかという事ではなくそこからCに展開するということ。そんな考え方もありますからね。危機は乗り越えましたか(笑)。

**弦五** 結婚して2年。ここまでは来るのに、本当にどれだけの人が力を貸してくださったか、例えば二本松市役所の菅野さん、以下、多くの方々ありがとうございました。巡り合わせがあったから今がある。その今の現場を大切にしたい。

**根本** 東日本大震災の時、私なんか「アレしろコレしろ」と指示したらみんな詰まっちゃった。自分が現場に行つて何考えたか、とにかく朝起きたら自分の頭で

考える。そして帰る時間を決める。長く引きずる仕事はしない。そういう時に自治体の若い職員が布団を運ぶのも、本省に相談してからと言いかけて、自分で判断してトラックにどんどん積んだ。

3・11の福島の悲惨な状態を経験して、スキルは上がったんじゃないか。人間としてのスキル。だからそういう局面に立ち、仕掛けるっていうのが私の仕事かなと。インドネシアの子にも言ったんだけど、「助けてと言え人をいっぱい探してください」と。

そうこうしているうちに、こんな事をしたんだけど、どうしたら良いのかと、そこを経てやがて自信がつくだろうし。「場」をつくる。失敗を積んで行くことが大切な。

### 分け与えられる 真の豊かさがここに

**弦五** まあ地域とのかかわりが多いにありますね。朝、「がんばってるね」とか見てくれる人がいる。反応は速い。農業はかつつけなくても現状も見える。「やる」って決めたら、毎日毎日判断している中で、「ありがとう」ばかり。

**久美子** 近所さんが話しかけて来てくれたら、わあーって嬉しくなるし。会話って言っても些細なこと。それが何より良いのかな。

**弦五** 地域って、農村って、困った事を相談するし。みなさん悩みもする。実は泣いてもいるし。「誰々が亡くなった」とか、強い苦しみもある。そんな中でも「おはよう」って声かけてくれる。「なんでも言ってくれ

よ」と声掛けて見てもくれる。ありがたいとしか言いようがない。

**根本** かつては子どもが多く、いわば芋洗い状態。ゴロゴロゴシゴシと関係が密。しかし過疎化がすすんで、どんどん人間がバラバラになってゆく。都会に出ていって、「ふるさと」をすてて、みんな浮遊状態になれば「母なる大地」に、錨をどこにどう下ろそうかというのがないと思える。

**久美子** 大地に根ざして、何を感じて何を思うか。そんな時間が私を瞑想させる。大地は母ですね。

**根本** さて、皆さんにメッセージを。

**弦五** ここに会いに来てもらいたい。確立する未来がある。結果を出し続けてSNSでもなんでも使つて「農業がどこまで幸せか」を伝えていきたい。農民連の仲間を含め邁進する。皆んなの輪を広げることができたらと思います。働いている人が一緒に考え、皆んなでカバーする関係を作れないと。しかもそれぞれがリスベクトし合わないと。自分の仕事を信じてくれたら、時にはケツは大いに叩いてもらいたいんです。

**久美子** コミュニケーションの輪を広げたい。ここには、こんなに分け与えられるほど豊かだからと伝えたい。経済社会の中、貰おうとした途端に不満で不服になる。分け与えようとすれば思いやりと優しさに溢れる。

**根本** もっともっと、青年を農村にむかせよう。今日はありがとうございました。



新春取材をおこなった二本松東和地区の新田家。古民家の風情がのこりつつ2人のセンスがひかる空間。

## 農民連フラッシュ flash

### 東北農民運動交流集会開催!

第40回東北農民運動交流集会が11月28日に開催されました。今年は福島での開催。東北6県、総勢100名程が参加しました。今回は「青年は農村を目指す」をテーマに4名の講師の方から、福島で行われている農業の担い手支援・就農の取組みについてお話を頂き、講演後はグループ討論を行いました。討論の中では、後継者不足、もっと国から農家に対するの支援が必要など様々な意見が出ました。



### 会津農民連・新婦人収穫祭

11月23日、喜多市・岩月交流館で会津農民連、新婦人会津若松・喜多方支部共同で収穫祭が開催されました。87名が参加し、新婦人さんによるコカリナ演奏、農民連の手づくり杵つき餅や豚汁、地元のパン屋さんの協力で収穫祭限定会津産小麦100%のパンの販売などが行われ大盛況でした。



## 楽天市場出店はじまりました!

### お店の名前は【福島農民連の Koranshop】

福島の方言、こらんしょ「いらっしやい」「来てください」という意味からきています! 楽天市場からのご購入お待ちしております!



こちらから